

- 問1 平安時代中期、摂政・関白として権勢を誇った藤原頼通が、京都の宇治に建立した阿弥陀堂を何といいますか。当時の貴族の間で流行した、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰を象徴する建築物を選びなさい。 (2024年 宮城県公立入試 類似)

1. 法隆寺

2. 平等院鳳凰堂

3. 正倉院

4. 東大寺南大門
- 問2 日本の平安時代中期にあたる10世紀の世界情勢について述べた文として、歴史的な事実と合致するものを選択してください。 (2022年 青森県公立入試 類似)

1. 朝鮮半島では高麗が減び、李氏朝鮮による統治が始まった。

2. 中国を再統一した隋が、日本に対して朝貢を求める使節を送ってきた。

3. 中国では長らく続いた唐が滅亡し、社会が混乱する五代十国の時代に入った。

4. モンゴル民族が勢力を広げ、フビライ・ハンが元を建国した。
- 問3 平安時代の末期、武士として初めて朝廷の最高職である太政大臣に任命され、一族で政治の実権を握った人物の名前として正しいものはどれか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)

1. 足利尊氏

2. 源頼朝

3. 平清盛

4. 北条時政
- 問4 日本の歴史を、(1)645年の大化の改新から743年まで、(2)743年から794年の平安遷都まで、(3)794年から1086年の院政開始まで、(4)1086年から1192年の鎌倉幕府成立まで、という4つの期間に区切ったとします。このうち、かな文字が普及し、貴族の生活に即した日本独自の文化が最も栄えた期間はどれですか。 (2024年 茨城県公立入試 類似)

1. 645年から743年までの期間

2. 743年から794年までの期間

3. 1086年から1192年までの期間

4. 794年から1086年までの期間
- 問5 平安時代初期、桓武天皇の命を受けた坂上田村麻呂が東北地方への遠征を行った理由と、その際に与えられた役職の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)

1. 近畿地方の寺院の勢力を抑えるため、関白(かんぱく)に任命された。

2. 北九州の防備を固めるため、防人(さきもり)に任命された。

3. 東北地方の蝦夷(えみし)を服従させ支配を広げるため、征夷大將軍に任命された。

4. 全国の戸籍を作成し租税を徴収するため、国司(こくし)に任命された。
- 問6 「源氏物語絵巻」などの絵巻物には、当時の貴族の生活風景とともにその邸宅の様子が詳しく描かれています。これらの資料に見られる、平安時代の建築様式について述べた文として正しいものはどれか。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)

1. 床の間や違い棚、畳を敷き詰めた部屋を特徴とする書院造が、貴族の日常生活の場となった。

2. 自然との調和を重視し、池や庭園を眺められるよう建物が廊下で結ばれた寝殿造が用いられた。

3. 仏教の影響を強く受け、左右対称の伽藍配置を持つ寺院のような居住空間が一般的であった。

4. 防御機能を重視し、高い堀や堀で囲まれた質素で堅固な武家屋敷の構造を取り入れた。
- 問7 平安時代の藤原氏と皇室の系図を読み取ると、藤原氏の娘たちが天皇のきさきとなり、その間に生まれた子どもが次の天皇として即位する血縁関係が繰り返し見られます。この関係を利用して藤原氏が政治の実権を握った仕組みの説明として、最も適切なものを次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 熊本県公立入試 類似)

1. 地方の有力な武士と主従関係を結び、軍勢力を背景に朝廷を統制する仕組み。

2. 天皇の母方の親戚(外戚)の立場を利用して、摂政や関白に就任し政治を行う仕組み。

3. 武士の棟梁が幕府を開き、朝廷から政権の委任を受けて全国を支配する仕組み。

4. 天皇が位を退いて上皇となり、院庁を開いて政治の実権を握る仕組み。
- 問8 藤原頼通が建立した平等院鳳凰堂と、室町時代に足利義政が建立した慈照寺銀閣(銀閣)を比較した説明として、平等院鳳凰堂の特徴を正しく述べたものはどれか。 (2018年 鳥取県公立入試 類似)

1. 禅宗の影響を強く受け、書院造と呼ばれる簡素な武家文化の様式を取り入れている。

2. 大陸との貿易で得た富を象徴するため、建物の外壁全体に金箔を貼り巡らせている。

3. 一層目が住宅風、二層目が禅宗様式の仏堂という、異なる文化が融合した二層構造である。

4. 阿弥陀如来を祀り、華麗な装飾や池を中心とした配置によって極楽浄土を表現しようとした。
- 問9 平清盛は、武士として初めて政治の実権を握る際、藤原氏が用いた「摂関政治」の仕組みを模倣しました。平清盛が自身の権力基盤を固めるために行った具体的な行動として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)

1. 自らが上皇となり、摂政や関白を介さずに直接政治を行う「院政」を開始した。

2. 遣唐使の派遣を継続し、唐の進んだ政治制度を取り入れることで中央集権化を進めた。

3. 娘の徳子を高倉天皇の后とし、その間に生まれた安徳天皇を即位させて外戚となった。

4. 武力によって京都の朝廷を完全に解体し、鎌倉に独自の政治拠点(幕府)を開いた。
- 問10 「この世をば わが世とぞ思う 望月の 欠けたることも なしと思えば」という歌を詠み、摂関政治の全盛期を築いた人物は藤原道長です。その子である藤原頼通が、父の別荘を寺院に改め、京都の宇治に建立した建築物の名称として正しいものを選びなさい。 (2024年 千葉県公立入試 類似)

1. 東大寺大仏殿

2. 厳島神社

3. 中尊寺金色堂

4. 平等院鳳凰堂
- 問11 平安時代の国風文化期に成立した文学作品の説明として、最も適切なものを1つ選びなさい。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)

1. 紀貫之らが編纂した、中国の唐の詩人の作品を集めた日本初の漢詩集が『古今和歌集』です。

2. 清少納言によって著された、宮中での生活や四季の情景などを描いた随筆が『枕草子』です。

3. 柿本人麻呂らの作品が収められた、現存する日本最古の和歌集が『万葉集』です。

4. 紫式部によって著された、安土桃山時代の武士の生活を描いた長編小説が『源氏物語』です。
- 問12 平安時代に紫式部が『源氏物語』を執筆した際の時代背景について述べたものとして、最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 島根県公立入試 類似)

1. 仏教を広めるために幕府が平易な文字の使用を命じ、庶民の間で娯楽としての読書が急速に普及した。

2. 遣唐使の廃止にともない、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達し、かな文字による表現が広がった。

3. 大陸との交流が盛んになり、最新の唐の文学理論をそのまま取り入れることが奨励された。

4. 武士が政治の実権を握り、素朴で力強い文化が好まれたため、戦の様子を伝える文学が主流となった。
- 問13 奈良時代に編纂された『万葉集』と、平安時代中期に編纂された『古今和歌集』における和歌の題材を比較すると、万葉集では中国文化の影響から「梅」を詠んだ歌が多かったのに対し、古今和歌集では「桜」を詠んだ歌が増えるという変化が見られます。このように、日本の自然や情緒を重んじるようになった文化の時期に成立した作品として、正しいものはどれですか。 (2023年 島根県公立入試 類似)

1. 解体新書

2. 平家物語

3. 源氏物語

4. 東大寺正倉院の宝物